

障がいを持つ 子どもたちへの支援

—アニマルセラピーを含む“総合的セラピー”の取り組み—



つだ のぞみ
講師：津田 望
社会福祉法人のゆり会理事長、
のぞみ療育グループ代表

我が国の出生率は、過去10年以上減り続けています。しかし身体や知的な発達に問題をもつ子どもの相対数はむしろ増えています。その原因は、出産の高齢化や公害、また診断法などの進歩により見逃されていた発達の問題の明確化など、複数の要因が考えられます。しかし原因がなんであれ子どもの発達を保障するには、問題を早期に発見し特定化し、解決の方向に向けることが必要です。セラピー（療育）は、そのために開発され施行されますが、個々の能力を正確に評価し、包括的また効率的に行うための体系化がなかなか進んでいません。私たちの療育現場では、従来の作業療法や音楽療法、言語聴覚療法などの他に、動物介在によるアニマルセラピーや乗馬セラピーを用い、一人ひとりの子どもに合わせた総合的な方法「総合的セラピー」を行っています。今回の講演では、その基本的な考え方・方法とともに日々のセラピーの様子を紹介いたします。

獨協大学卒業後、1986年英国ロンドン市大学大学院修士ディプロマ修了（臨床伝達学専攻）、同年全英圏臨床言語士資格取得。1990年「のぞみ発達クリニック」（東京都）開設。2002年児童発達支援センター「のぞみ牧場学園」（千葉県）開設。2015年障害者就労支援施設「のぞみワークショップ」（千葉県）開設。2018年6月障害者就労支援のための「カフェのぞみ」オープン予定。獨協大学講師、瀬川神経学クリニック、のぞみ発達クリニック所長、のぞみ牧場学園施設長などを経て、現在社会福祉法人のゆり会理事長、のぞみ療育グループ代表。

研究テーマ ・子どものコミュニケーション能力の発達
・無発話児に対するコミュニケーション手段の適用
・言語発達促進のための「アニマルセラピー」「乗馬セラピー」

主な著書 『マカトン法入門』（共著）『マカトン法認知言語プログラム』（旭学園教育研究所）
『入門新・ことばのない子のことばの指導』（学習研究社）
『認知・言語促進プログラム：NC program』（コレール社）
『アニマルセラピーのすすめ：豊かなコミュニケーションと癒しを求めて』（明治図書出版）
『認知・言語・運動プログラム：発達障がい児のためのグループ指導』（明治図書出版）
その他、論文多数

日時

7月21日(土) 14時～16時(13時開場)

場所

獨協大学 天野貞祐記念館大講堂

東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通東武スカイツリーライン「獨協大学前<草加松原>」西口より徒歩5分 *車でのご来校はご遠慮ください

受講

無料 定員500人
当日先着順 事前申込不要

共催：草加市

2018年度

獨協大学オープンカレッジ特別講座

獨協大学エクステンションセンター

☎048-946-1678

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1